

物理学委員会 物理教育研究分科会（第25期・第1回）

議事要旨

日時 令和3年1月27日（水）15:00～17:10

会場 オンライン（zoom）会議

出席者： 板倉委員、市川委員、岡委員、駒宮委員、笹尾委員、新永委員、関口委員、千葉委員、中山委員、松尾委員、横山委員、笠委員、和田委員、渡部委員
覧具博義参考人

欠席者： なし

世話人である笹尾委員より出席確認と開会の挨拶があり、各委員が自己紹介を行った。また、笹尾委員から23期物理教育研究ワーキンググループ委員長で24期物理教育研究分科会の委員であった覧具博義氏に参考人として出席を求め、議題（2）と（3）に関する意見を求めることが提案され、了承された。

議 題

（1） 委員長の選任および副委員長、幹事の指名
委員の互選により、岡委員が委員長に選出された。つづいて、岡委員長が笹尾委員を副委員長に、千葉委員と笠委員を幹事に指名し了承された。

（2） これまでの経過

- ・ 笹尾委員より、資料3にもとづき、第24期の物理教育研究分科会の活動について、分科会の目的、設置の経緯、令和2年8月の提言発出に至る経緯の報告が行われ、質疑応答が行われた。

- ・ 覧具参考人より、（1）PER (Physics Education Research) および DBER (Discipline-based Education Research) の意味とアメリカでのその発展の経緯、（2）日本の大学の理工系および教員養成系学科でのFCI (FCI : Force Concept Inventory (力学概念理解度調査問題)) を用いた大学入門レベルの力学授業の有効性についての調査結果、（3）日本物理学会および学術会議等による、物理教育に関する取り組みの歴史、（4）今後の分科会の活動への期待の4点について、報告が行われ、質疑応答が行われた。

（3） 今後の活動について

- ・ 岡委員長から、24期の分科会で議論された第25期への申し送り事項（机上資料）にもとづいて、（1）前期の提言の具体化（提言内容実現のための調査研究、分野横断的な取り組みの可能性などを含む）、（2）ジェンダー問題、（3）オンライン授業と効果的な物理教育などを中心に、今後の活動についての問題提起がなされ、各委員の意見交換がなされた。

- ・ 岡委員長から、次回の会合で、和田委員から、オンラインでの物理授業の実施方法に

ついて、横山委員からジェンダー問題に関する調査研究についての報告を受け、引き続き今期の課題について議論することが提起され、了承された。今後の活動に関連して、分科会で検討した結果を、どこにどのように発信するのかを明確化する必要があるという指摘があり、質疑が行われた。

(4) 特任連携会員について

岡委員長より、本分科会に委員として追加するため、覧具博義氏を特任連携会員に推薦することが提案され、了承された。

(5) その他

- ・分科会メンバーのメールアドレスを共有することが承認された。
- ・議事録の承認を委員長に一任することが承認された。
- ・笹尾委員から、3月の日本物理学会年次大会（オンライン）で、前期に発出した提言について総合講演を行うことが報告された。
- ・次回の日程は、4月以降にオンライン会議による開催とし、笹委員（幹事）が調整に当たることを確認した。

以上